

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について（周南市）

1 調査の概要

(1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組を通じ、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日

令和5年4月18日（火）

※中学校英語については、「聞くこと」「書くこと」「読むこと」の調査が4月18日（火）に紙で、「話すこと」の調査が4月18日（火）～5月26日（金）の中で文部科学省が指定した日にオンラインで実施。

(3) 調査の方法

悉皆調査

(4) 調査を実施した校数・児童生徒数

学 年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	26校	児童 1、051人
中学校第3学年	13校	生徒 1、060人

(5) 調査内容

- ① 教科に関する調査（小学校…国語、算数 中学校…国語、数学、理科）
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - 児童生徒に対する調査 【小学校…59項目 中学校…72項目】
 - 学校に対する調査 【小学校…81項目 中学校…89項目】

参考データ 令和5年度 平均正答率（％）

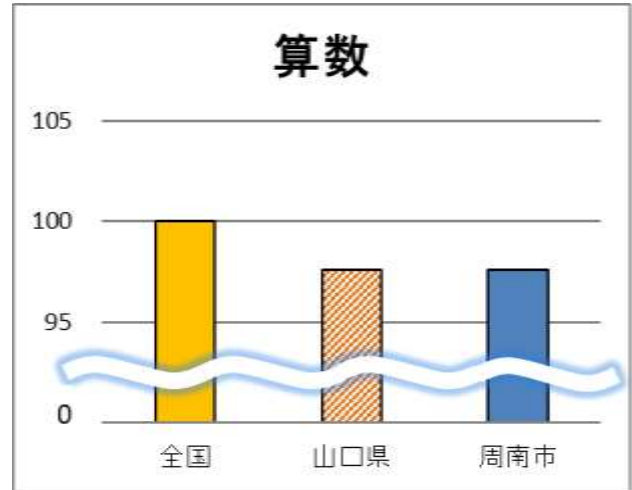
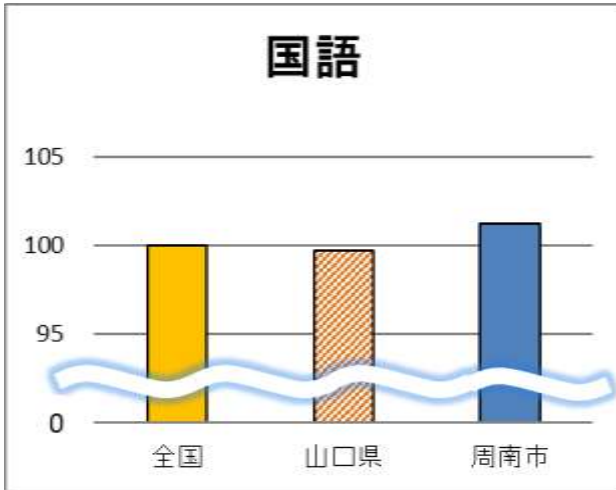
	小 学 校		中 学 校		
	国語	算数	国語	数学	英語
全 国	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6
山口県	67	61	70	52	44

2 結果の概要

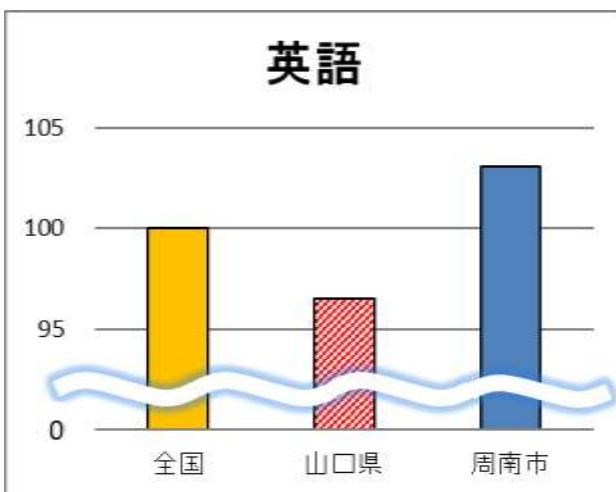
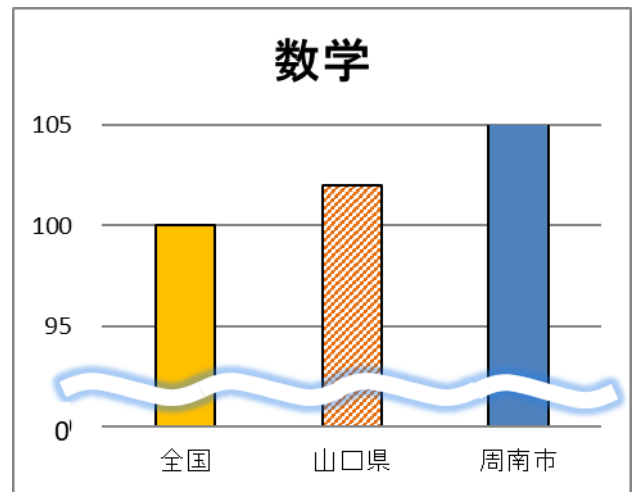
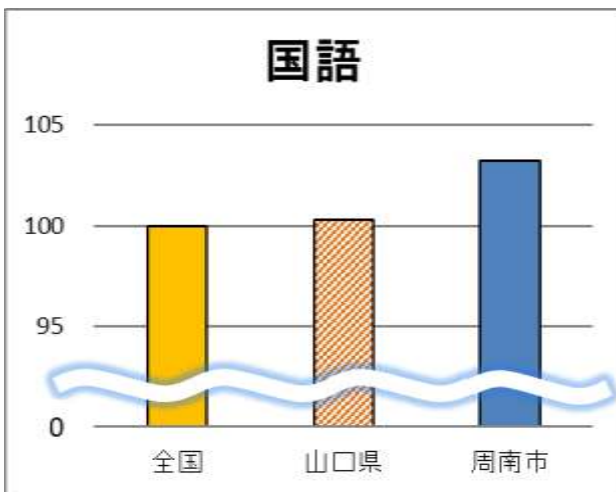
(1) 教科に関する結果（グラフ）

下のグラフは、令和4年度における全国平均正答率を100としたときの周南市と山口県の平均正答率の比を算出したものである。

<小学校>



<中学校>



(2) 教科ごとの結果

※ 国や県の平均正答率との比較について、次のように表現する。

- ・ 1%未満の差 . . . 「同等」
- ・ 1%以上2%未満の差 . . . 「やや」
- ・ 2%以上4%未満の差 . . . 「かなり」
- ・ 4%以上の差 「大きく」

① 小学校国語

平均正答率が全国平均と同等、県平均をやや上回っている。

【成果が見られた点】

- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う〔問題番号1三(2)イ〕
(選択式、全国正答率93.1% 全国と同等)
- 文章の種類とその特徴について理解している〔問題番号1四〕
(選択式、全国正答率79.8% 全国と同等)
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する〔問題番号2一〕
(選択式、全国正答率90.0% 全国と同等)

【課題のある点】

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する〔問題番号1二〕(記述式、全国正答率26.7% 全国をかなり上回る)
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う〔問題番号1三(1)ア〕(短答式、全国正答率52.8% 全国をやや上回る)
- 日常よく使われる敬語を理解している〔問題番号3三〕
(選択式、全国正答率57.6% 全国をかなり下回る)

② 小学校算数

平均正答率が全国平均をやや下回り、県平均と同等である。

【成果が見られた点】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める〔問題番号1(1)〕
(短答式、全国正答率93.5% 全国をやや上回る)
- 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いる〔問題番号1(2)〕
(短答式、全国正答率88.5% 全国をやや上回る)
- 正方形の意味や性質について理解している〔問題番号2(2)〕
(短答式、全国正答率87.2% 全国と同等)

【課題のある点】

- 正三角形の意味や性質について理解している〔問題番号2（3）〕
（短答式、全国正答率24.9% 全国を大きく下回る）
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する〔問題番号2（4）〕
（記述式、全国正答率20.8% 全国を大きく下回る）
- 百分率で表された割合について理解している〔問題番号4（1）〕
（選択式、全国正答率46.0% 全国を大きく下回る）

③ 中学校国語

平均正答率が全国平均、県平均をかなり上回っている。

【成果が見られた点】

- 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめる〔問題番号1四〕
（記述式、全国正答率82.5% 全国を大きく上回る）
- 事象や行為、心情を表す語句について理解している〔問題番号2一〕
（選択式、全国正答率91.1% 全国と同等）
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む〔問題番号4一〕
（短答式、全国正答率82.5% 全国を大きく上回る）

【課題のある点】

- 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える〔問題番号3一〕（選択式、全国正答54.3% 全国と同等）
- 文脈に即して漢字を正しく書く〔問題番号3二〕
（短答式、全国正答率43.9% 全国を大きく下回る）
- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える〔問題番号4三〕（記述式、全国正答率50.0% 全国を大きく上回る）

④ 中学校数学

平均正答率が全国平均を大きく、県平均をかなり上回っている。

【成果が見られた点】

- 数と整式の乗法の計算ができる〔問題番号2〕
（短答式、全国正答率80.5% 全国を大きく上回る）
- 問題場面における考察の対象を明確に捉える〔問題番号6（1）〕
（短答式、全国正答率88.9% 全国をやや上回る）
- 四分位範囲の意味を理解している〔問題番号7（1）〕
（短答式、全国正答率65.7% 全国を大きく上回る）

【課題のある点】

- 空間における平面が同一線上にない3点で決定することを理解している
〔問題番号3〕（選択式、全国正答率30.4% 全国をやや下回る）
- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する〔問題番号7（2）〕
（記述式、全国正答率33.6% 全国をかなり上回る）
- ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する〔問題番号9（1）〕
（記述式、全国正答率32.1% 全国をやや下回る）

⑤ 中学校英語

平均正答率が全国平均をやや、県平均をかなり上回っている。

【成果が見られた点】

- 情報を正確に聞き取る〔問題番号1（1）〕
（選択式、全国正答率79.0% 全国を大きく上回る）
- 情報を正確に聞き取る〔問題番号1（2）〕
（選択式、全国正答率64.4% 全国と同等）
- 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読む〔問題番号5（2）〕
（選択式、全国正答率64.5% 全国をかなり上回る）

【課題のある点】

- 社会的に話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く
〔問題番号8（2）〕（記述式、全国正答率19.5% 全国と同等）
- 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書く
〔問題番号9（1）②〕（短答式、全国正答率20.9% 全国と同等）
- 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く〔問題番号10〕
（記述式、全国正答率7.4% 全国をやや上回る）

(2) 生活習慣や学習習慣等に関する結果

※ 国や県、昨年度の市の回答率と比較して、0%以上2%未満の差は「同程度」と表現する。

① 児童に対する調査（小学校）

質問事項	グラフ	分析・評価
朝食を毎日食べていますか		<p>国や県と比べ、「している」とした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。</p>
自分には、よいところがあると思いますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、増加している。</p>
将来の夢や目標を持っていますか		<p>肯定的な回答をした児童の割合は、国と比べ高く、県と比べ同程度。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。</p>
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。</p>
学校に行くのは楽しいと思いますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。</p>
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。</p>
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は低い。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。</p>
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）		<p>「2時間以上」と回答した児童の割合は、国と比べ低く、県と比べ同程度。昨年度と比較し、「2時間以上」と回答した市内の児童の割合は、増加している。</p>
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）		<p>「30分以上」と回答した児童の割合は、国や県と比べ同程度。昨年度と比較し、「30分以上」と回答した市内の児童の割合は、同程度。</p>
今住んでいる地域の行事に参加していますか		<p>肯定的な回答をした児童の割合は、国と比べ高く、県と比べ同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、増加している。</p>
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか		<p>肯定的な回答をした児童の割合は、国と比べ高く、県と比べ同程度。</p>

<p>5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか</p>		<p>国や県と比べ、「週3回以上使用した」と回答をした児童の割合は低い。昨年度と比較し、「週3回以上使用した」と回答をした市内の児童の割合は、同程度。</p>
<p>5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、増加している。</p>
<p>5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、増加している。</p>
<p>学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか</p>		<p>肯定的な回答をした児童の割合は、国と比べ高く、県と同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、増加している。</p>
<p>学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか</p>		<p>国と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。県と比べると低い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、同程度。</p>
<p>道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか</p>		<p>国と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は高い。県と比べると同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、増加している。</p>

② 生徒に対する調査（中学校）

質問事項	グラフ	分析・評価
<p>朝食を毎日食べていますか</p>		<p>「している」とした生徒の割合は、国と比べ高く、県と同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>
<p>自分には、よいところがあると思いますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>
<p>将来の夢や目標を持っていますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p>
<p>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>
<p>学校に行くのは楽しいと思いますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p>
<p>普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は同程度。</p>

<p>家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む)</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>
<p>学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)</p>		<p>「2時間以上」と回答した生徒の割合は、国と比べ低く、県と比べ高い。昨年度と比較し、「2時間以上」と回答した市内の生徒の割合は、同程度。</p>
<p>学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)をしますか</p>		<p>「30分以上」と回答した生徒の割合は、国と比べ高く、県と比べ同程度。昨年度と比較し、「30分以上」と回答した市内の生徒の割合は、同程度。</p>
<p>今住んでいる地域の行事に参加していますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p>
<p>地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか</p>		<p>肯定的な回答をした生徒の割合は、国と比べ高く、県と比べ同程度。</p>
<p>1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか</p>		<p>国や県と比べ、「週3回以上使用した」と回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、「週3回以上使用した」と回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>
<p>1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>
<p>1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか</p>		<p>肯定的な回答をした生徒の割合は、国と比べ高く、県と比べ同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p>
<p>学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか</p>		<p>肯定的な回答をした生徒の割合は、国と比べ高く、県と比べ同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p>
<p>学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p>
<p>道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか</p>		<p>肯定的な回答をした生徒の割合は、国と比べ高く、県と比べ同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>

③ 学校に対する調査

下に示した調査項目は、周南市内の小・中学校の学校質問紙への回答について、全国と比較して、望ましい傾向にある項目を○で、やや課題の見られる項目を●で示したものである。（学校の教育活動全般についての前年度までの取組等について回答）

生徒指導等

- 調査対象学年の児童（生徒）は、熱意をもって勉強していると思いますか
- 調査対象学年の児童（生徒）は、礼儀正しいと思いますか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況

- 児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか
- 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
- 言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか
- 児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか
- 個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

- 調査対象学年の児童（生徒）は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか
- 調査対象学年の児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか
- 調査対象学年の児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法

- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか
- 〈小学校において〉調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成で

きるような指導を行っていますか

→「よくしている」と回答した割合が、全国に比べ低い

- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童（生徒）自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

ICTを活用した学習状況

- 教員がコンピュータなどの ICT 機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、児童（生徒）一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか

特別支援教育

- 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童（生徒）に対する授業の中で、児童（生徒）の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫等）を行いましたか

小学校教育と中学校教育の連携

- 前年度までに、近隣等の中（小）学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
- 令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中（小）学校と成果や課題を共有しましたか

家庭や地域との連携等

- 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか
- 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか
- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか

家庭学習

- 〈中学校において〉調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか
→「あまり行わなかった」と回答した割合が、全国に比べ高い
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

調査結果の活用

- 令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか
- 令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか（学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む）

3 今後の取組

【周南市教育委員会】

- 本市独自に作成し、継続して修正・改善を加えている「授業づくりのスタートライン」の更なる周知徹底を図り、授業の導入や終末における振り返りの充実に焦点を絞り、引き続き授業改善に取り組んでいく。



- 各小中学校における関係者を招集し、学力向上担当者会議を開催する。全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく本市の傾向や課題を周知するとともに、すぐに実践できる授業改善の具体的例示を行う。更に、会議の中で、各校が進めている学力向上に向けた取組について情報を共有したり協議したりする場を設けることで、今後の取組の活性化を図る。
- 周南市教育委員会や山口県教育庁義務教育課による学校訪問の機会を活用し、各校の学力向上に向けた取組について、指導助言を行う。
- 市内全小中学校の学力向上に向けた取組を冊子に取りまとめ、各校に提供することで、多角的な視点で自校の学力向上に向けた取組について検証・改善することができるようにする。
- 学校がもつ教育力を更に高めるために、周南市教育研究センター主催の若手教員の研修会等を通して、教師の指導力向上、授業改善の支援に努める。